

平成19年8月14日

各位

住友信託銀行株式会社

米国住宅担保ローン関連の投資等について

昨今の米国サブプライムローン¹関連投資の金融機関への影響に対する懸念の高まりを受け、当社の米国における住宅担保ローン関連のエクスポージャー、ならびに海外のクレジット投資全般に関する状況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

1. 米国住宅担保ローン関連のエクスポージャー

平成19年7月末²現在において、米国住宅担保ローン関連のエクスポージャーとして判明しているものは以下のとおりです（括弧内は平成19年6月末³現在）。

(1) サブプライムローンを主たる担保とする資産担保証券

投資残高	135 億円	(118 億円)
評価損益	2 億円	(0 億円)

なお、保有する全ての銘柄が、本日現在においても外部格付機関による AAA の格付けを維持しており、格付け見直しの対象となっておりません。

(2) 米国住宅ローン関連資産を含む資産担保証券を主要な投資（もしくはヘッジ）手段のひとつとするファンド（速報値）

投資残高	123 億円	(128 億円)
評価損益	+4 億円	(+5 億円)

2. 海外クレジット投資全般の状況

平成19年7月末現在における当社の海外クレジット投資（日系企業向けを除く海外向け貸出および外国国債を除く有価証券投資）の概要は、以下のとおりです。

(1) 有価証券（時価のあるもの） （単位：億円）

	時価			評価損益
		対北米	対欧州	
資産担保証券（原資産の種類）	5,692	1,899	3,770	31
対住宅担保ローン	2,340	135	2,204	6
対法人向けローン	1,517	930	587	8
対クレジットカード与信	822	670	140	3
社債*	3,125	146	1,260	4(58)**

* 格付け分布：A格以上55%、BBB格36%、BB-B格9%。

** 「社債」の評価損益は58億円ですが、「社債」の取得に伴い取り組んだ金利スワップの評価益が54億円ありますので、実質的な評価損益は4億円となります。

¹ 信用力の低い個人向けの住宅ローン。

² 平成19年7月末の弊社対顧客電信相場仲値で換算（1USD=118.92円、1EUR=163.02円、1GBP=241.56円）。

³ 平成19年6月末の弊社対顧客電信相場仲値で換算（1USD=123.28円）。

(2) 貸出およびその他の有価証券(時価のないもの)

(単位:億円)

	残高	
	円 北米	円 欧州
法人向けローン*	4,790	855
非上場外国証券	949	24

* 格付け分布: BBB 格相当 8%、BB-B 格相当 92%。全てが担保付であり、また総取引件数が約 1,160 件に達するなど、リスクの分散されたポートフォリオとなっています。

** このほか、当社連結子会社である STB Omega Investment Ltd. (当社持分 75%) が北米の非上場外国証券(法人向け貸出債権担保証券) 209 億円を保有しています。

3. 当期業績予想への影響

現時点において、上記 1. 2. のポートフォリオによる当期業績予想への影響はありません。

以上